



# コミュニティ・ yoshikawa-sho スクール 通信

Vol. 7

発行日：令和5年 10月 12日

## 学校田の 稲刈り体験 (吉川長寿会 様)

9/29(金)秋晴れの下、吉川長寿会の皆様のご協力、ご指導を仰ぎながら学校田の稲刈りを実施しました。6月に全校で田植えをし、5年生を中心に観察してきた稲がすくすくと大きくなり、立派な穂をつけていました。

「稲刈り」は生活科、総合的な学習の一環として、以下のねらいで実施しています。

- ① 稲刈り体験を通して、収穫の喜びを味わわせ、仲間とともに協力して働くことの大切さを理解させる
- ② 長寿会の方と一緒に稲刈りをするを通して、米づくりの苦労や喜びを学び取らせ、食べ物に対する感謝とそれを作る人々への感謝の気持ちを育てる
- ③ 先人の伝統的な農法の工夫から今日的な農業技術の発展に至るまでの過程を、各学年に応じて学習できる体験学習の場にする



最初に長寿会の村会長から子ども達に「くれぐれも怪我のないように」とご挨拶がありました。続いて波光さんが鎌の使い方・稲の束ね方・干し方などを教えて下さいました。子ども達は昨年同様、低学年と高学年のペアになり稲刈りに挑戦します。1年生は初めての稲刈り・・・危険な鎌はペアの6年生がしっかりと管理し、手を引いてくれます。



5年生は全員順番にコンバインに乗せて頂き、現代の稲刈りも体験しました。驚くほどの刈り取りの早さに、今と昔の違いや手作業の大変さを実感することができたと思います。コンバインを操作する真剣な表情からも学びの充実が伺えます。

手作業の子ども達は夢中になって刈り進んでいき、どんどん束ができていました。途中、落ちていた1本1本の稲を丁寧に拾い集める姿もあり、お米の大切さを学び取っている様子が伝わってきました。最後は5年生から長寿会の皆様にお礼のお茶とお菓子をお渡しし、稲刈りを終了しました。思いを込めて米づくりをされている方々や地域の方々への感謝の気持ちがあふれる体験学習となりました。長寿会の皆様、お忙しい中ご協力いただきありがとうございました。